竹原市シルバー人材センターだより8月号

★現在募集中の就業情報★

- 1. 剪定(初心者でやってみたいと思われる方でも大丈夫です)
- 2. 草刈り希望の方
- 3. 草とり希望の方
- 4. 施設の自動車運転・・・月・水・金 8:00~9:30
- 5. 高齢者施設の清掃·シーツ交換など(女性·ゆさか)・・・10:30~15:30 5H
- 6. 高齢者施設の清掃・シーツ交換など(女性・ゆさか)・・・10:30~15:30の内

2.5 H~2.45 H 程度

7. 高齢者施設の下膳·片付け·洗濯たたみ等(女性·ハートフル)・・・16:00~19:00 3H

興味があり、やってみたいと思われる仕事があれば説明しますので、 遠慮なく事務局まで連絡下さい。

事務所からお知らせ

◎コロナウイルス感染拡大しています。

鼻水や喉の痛み・咳・発熱などの症状がある場合、仕事は休み、外出も控えてください。 竹原市相談窓口が、☎ 22-7160 (平日9時~17時)等ありますので、連絡して 検査を受けることをお勧めします。

実際に陽性になった方で発熱がなかった方もおられました。参考までに! 検査を受け、陽性になった場合は、事務所に連絡をお願いします。

◎今年も2023年度版の会員手帳の予約の受付をしています。 申し込みは、10月末までです。 事務所までご連絡ください。

2 2 2 - 3 3 3 1

会員手帳として、見やすく、使いやすく、 そしてお求めやすい価格で提供しています。 価格は、 1 ± 250 円です。

会員の皆さまお一人おひとりに、 就業予定・就業実績等を記入し、ぜひ活用していただきたい手帳です。



クイズはうらにあります

答えをご持参の方粗品進呈 9月20日以降にご持参ください。提出・受取りは会員さん本人に限ります。



	6			2	1			
3		2						9
	8				5	1		2
	7		8	1		6	9	
				3				
	3	8		9	2		4	
1		3	6				8	
9						4		7
			2	5			1	

例

7	8	2	9	4	6	3	1	5
5	6	3	2	7	1	9	4	8
1	4	9	5	8	3	7	2	6
9	2	4	6	1	7	8	5	3
3	5	1	8	2	9	6	7	4
8	7	6	4	3	5	2	9	1
4	9	5	7	6	8	1	3	2
2	3	8	1	9	4	5	6	7
6	1	7	3	5	2	4	8	9

名 前

問題を読んでマスにあてはまる文字を入れましょう。A~Eをつなげてできる言葉は?

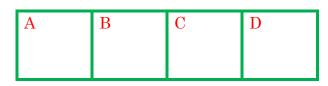
1	2		3	4	5
C					
6				7	
			8		
			D		
9		10			
		11	12		13
В		A			
14					

タテのカギ

- 1. ハリセンボンもこの魚の仲間
- 2. うまいことが重なり、好都合なことを言う成句を略した言葉
- 4. 自分の事を誇ること。自慢
- 5. 我が家に帰ること
- 9. 五・七・五の17音を定型とする短い詩
- 10. サラダといえばこの野菜
- 12. 自分の考えを押し通そうとすることを○○を 張るという
- 13. 日本の三大珍味と言えば○○、カラスミ、このわた

ヨコのカギ

- 1. 卵をかえすこと
- 3. 相手になる敵がいないほど強いこと
- 6. くだらない質問
- 7. 大変不思議なことを○○不思議という
- 8. 道が曲がりくねって遠いこと
- 9. 人のしゃべりかたの調子。○○○が悪い言い方
- 11. 器械〇〇〇〇、ラジオ〇〇〇〇
- 14. えりくび、うなじのこと



№.183 2022年8月

安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会



草刈機での飛び石の事故が 多発しています。必ず養生し てから作業してください。

★今月の事故★

1. 事故の概要(就業中)

公園内の草刈り・草取りを4名で作業中、1人の会員がハチに襲われ、その場を離れてハチ駆除用スプレーを取りに戻ったと思われるが刺されてしまったもの。他の会員は、罹災者の「ハチがいる」という声に気付いてはいたが、作業中にはよくあることなのであまり気に留めておらず、罹災者がハチに刺されたことに気付いていなかった。作業開始からおおよそ10分後に休憩場所を通りがかった他の会員が意識をなくして倒れている罹災者を発見し、身体が熱かったため熱中症を疑い、体を冷やすとともに救急車を依頼したが、入院後に死亡した。

罹災者は今年に入ってから一度ハチに刺されており、今回が2回目だった。ハチ 駆除用スプレーはSCが支給し所持していた。

2. 事故の原因

蜂の毒に起因したアナフィラキシーショックによる低酸素脳症

3. 事故発生後の再発防止策

【センター】

- ・屋外作業班・剪定班等に事故状況報告・注意喚起
- ・7月号の「事務局だより」に「安全だより」として、熱中症対策及びハチ刺され への対応について会員に注意喚起を実施
- ・屋外作業班・剪定班等に救急セット (ハチ刺され対応) を貸与 (予定)
- ・救急救命講習の開催 (予定)

【連合本部】

- ・県内版安全就業ニュースを作成してハチ・アナフィラキシーについて全 SC に周知する。
- ・ 複数人での就業及び会員同士が気を配り就業するように啓発する。
- ・安全就業パトロールを行う。
- ・連合会事務局長会議にて本事案について周知する。
- ・安全・衛生・適正就業推進委員会において、本事案について報告等を行う。

4. 全シ協から

令和3年度の統計で「蜂、犬、蛇等に刺され、噛まれ」の事故は900件発生し、事故総数の19%と多く、重篤事故になりにくいとされてきましたが、昨年同様、大きな事故となってしまいました。

蜂に刺された場合に蜂毒にアレルギーがなければ刺された箇所に軽い痛みやかゆみ、腫れなどが起こり何日かで消えていきます。しかし、蜂毒アレルギーがあると刺された人の10%くらいが、全身のじんましんなどの皮膚症状や嘔吐、呼吸困難などが起こるアナフィラキシーを引き起こすといわています。そのうち数%は意識障害や急な血圧低下によるアナフィラキシーショックを起こすとされ、命の危険がおよぶ確率が高くなります。また、今回のように過去に蜂に刺されたことがある方は、アナフィラキシーを起こす危険があるので、抗体検査をしておくことをお薦めします。その結果、抗体がある場合は、就業を控える、救急対応器具(蜂毒吸引機)を携行するなどの対応をお願いします。

夏から秋にかけて蜂が多く発生する場所での就業は皮膚の露出をできる限り控え、黒地の着衣等や香水、化粧品等で匂いのするものは避け、蜂駆除スプレーを携行し、事前に就業場所に蜂がいないかの下見をするなど確認をしてから作業にあったって下さい。蜂に刺された場合、流水で傷口を洗い流し、アナフィラキシーを疑う症状(発疹、めまいなど)が出たら、すぐに 119 番通報をして救急車を呼んでください。自分の身を守る行動と事前の確認を怠らないようお願いします。また、一人での作業はやめてください。

令和4年7月(令和4年度)事故速報

(1) 重 篤 事 故

7月は、1件の重篤事故の報告がありました。

7月までの累計で比較してみると、令和3年度の6件と比して令和4年度は4件と2件減少しています。

また、就業中・就業途上別でみると、就業中では令和3年度の4件と比して同数ととなっており、就業途上については、令和3年度の2件と比して0件と減少となっています。

7月報告分までの累計

	就業中·		内			訳	4	令和3年	F度同	月累計	ŀ	
令	4902	件数	事故0	D程度	性	別			事故0	D程度	性	別
和	就業途上		死亡	入院	男性	女性		盐	死亡	入院	男性	女性
年 年	就業中	4(1)	4(1)	0(0)	2(1)	2(0)	就業中	4	3	1	4	0
度累計		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	就業途上	2	1	1	0	2
ПĦ	計	4(1)	4(1)	0(0)	2(1)	2(0)	計	6	4	2	4	2

7月報告分内容

No.	性別等	仕事内容 等	事故の状況	安全帽	安全帯	交通 手段
4	男 72 歳	就業中 (死亡)	公園内の草刈作業で、昼食後、石垣内の草取り作業 に入ったところ蜂に刺され、意識をなくし倒れた が、他の会員は蜂に刺されたことを知らず熱中症を 疑い体を冷やし、救急車を依頼したが、入院後、ア ナフィラキシーショックにより亡くなられた。	×	×	

(2) 1ヶ月~6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故

7月は、就業中の事故14件、就業途上の事故5件と、合計19件であり、昨年度同月の18件と比して1件の増加となっています。また、男女別では、男性は同数となっており、女性は1件の増加となっています。

7月までの累計で比較してみると、昨年度の68件と比して、本年度は74件と6件の増加となっています。就業中・就業途上別にみると、就業中は59件で8件の増加となっており、就業途上は15件で2件の減少となっています。男女別では、男性は2件の増加となっており、女性は4件の増加となっています。

令和4年度7月分

			事故数	事故数(件)		(件)	女性(件)		平均年齢(歳)	
		仕事の内容	7月	累計	7月	累計	7月	累計	7月	累計
	植オ	て・樹木の剪定等	6(6)	25 (23)	6 (6)	25 (23)	0(0)	0(0)	79	77
就	除草	连作業	1(4)	3(10)	1(4)	2(9)	0(0)	1(1)	79	77
業	屋内	n・屋外清掃作業	3(1)	12(10)	1(0)	3(5)	2(1)	9(5)	80	79
中	その他		6(2)	19(8)	5(2)	14(6)	1(0)	5(2)	78	78
		計	16 (13)	59 (51)	13 (12)	44 (43)	3(1)	15(8)	79	78
		徒歩	2(3)	5(8)	0(1)	2(2)	2(2)	3(6)	74	69
	交	自転車	1(1)	7 (5)	1(0)	4(2)	0(1)	3(3)	72	76
就業途上	通手	バイク	0(1)	3 (4)	0(1)	2(3)	0(0)	1(1)	—	76
	段	自動車	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	_	
		計	3(5)	15 (17)	1(2)	8(7)	2(3)	7 (10)	73	74
合 計		19 (18)	74 (68)	14(14)	52 (50)	5 (4)	22 (18)	78	77	

()は令和3年度同月の発生件数

腰痛予防 腰に負担をかけないことがポイント

職場における腰痛は、休業4日以上の業務上疾病の約6割を占め、数年にわたり第1位となっています。腰痛は特定の業種に限らず、多くの業種においてみられ、身近なものと言えます。

腰痛が発生すると痛みでつらい思いをするだけでなく、行動が制限され、仕事や日常生活に支障をきたします。そうならないための予防には、腰に負担をかけないようにすることがポイントになります。職場全体で設備改善や作業環境を見直すなどの腰痛予防対策とあわせて、自分自身でも意識して腰痛を防ぎましょう。

ポイント1

同じ姿勢を取り続けない

座りっぱなしのデスクワークや運転、立ちっぱなしの仕事では、長時間同じ姿勢を続けることで血流が悪くなり腰に痛みが生じます。こまめに姿勢を変えたり、適宜、休憩時間を設けてストレッチをしましょう。

- ※背中を丸くしたあと伸ばす動作を数回繰り返す
- ※後ろで手を組み胸を張り、同時にかかとをしっかり上げてゆっくり戻す

ポイント2

無防備に前かがみにならない

軽くお辞儀をしただけでも腰には負担がかかります。腰に負担のかかりにくい姿勢である。「パワーポジション」を身に付けて、物の持ち上げや前かがみになる動作を行うときはもちろん、いつでもどこでもできるように習慣化しましょう。

※腰の筋肉を使うのではなく、おしりや脚の力で体を起こしていく

覚えよう「パワーポジション」

- ●背中と腰はまっすぐ
- ●おしりを突き出す
- ●膝は内側を向かない
- ●膝はつま先より前に出さない

編集後記

今年、全国的に短い梅雨、明けた途端の猛暑。そして、「線状降水帯」による記録的な大雨に、お盆近くに発生しあっという間に通り抜けた台風。何らかの災害に遭われたみなさまにお見舞い申し上げます。新型コロナ感染症の感染者数は高止まり、自分の周りにも感染したという人は増える一方で、「自分の身は自分で守る」しかないのでしょうが、どう守ればよいのかよくわかりません。しかし、シルバーの事故は「自分の身は自分で守る」と意識すれば、防げるものがほとんどです。「自分だけは大丈夫」っていうことは絶対にありません。事故の報告を見ても、〇〇さえしていれば…と思うことばかり。8月も下旬となり、暦の上ではすでに秋を迎えていますが、まだまだ暑い日が続くことと思います。会員のみなさん、熱中症対策は今しばらく万全にお願いします。また、来週には昨年度に続き、今年度に安全就業優秀・優良シルバー人材センター・連合として表彰を受けられた各センター等の取り組み状況など1冊にまとめ、臨時増刊号として発行します。どちらのセンターもそれぞれ安全就業のため色々な工夫されていますので、ぜひご参考にされ、事故ゼロを目指して取り組んでいただければ幸いです。(松山)

私は15年ほど前から今のマンションに住んでいます。先日、久しぶりに隣の方とエレベーターで会い「お隣なのにお久しぶりですね」と会話をしました。36世帯ありますが、家族構成や生活環境などの違いからお会いすることはたまにしかありません。集まりといえば年1回の総会と年に数回の理事会のみで、出席しなければお互いの顔を認識する機会はありません。そんな中、先日、珍しく犬の鳴き声が聞こえてきました。どなたかが犬を飼い始めたのか、帰省されたお子さんが連れてきているのか?と勝手に妄想を膨らませているうちに、数日で聞こえなくなりました。またある時は、連日午前0時を過ぎると男性が大声でラップを歌っているのが聞こえてきて困惑したのですが、管理会社に苦情が入り注意を受けたらしく、今は蝉の声しか聞こえてきません。静かなのは良いことかもしれませんが息を潜めて暮らしているようで寂しくも感じます。近年、ご近所付き合いが面倒だと感じる人が増えているようですが、近所付き合い(コミュニケーション)をすることでトラブルを防げることも多いと思います。最近、シルバー人材センター同士でも「隣のセンターの様子がよくわからない」と耳にします。コロナ禍で人と人とが簡単に行き来できない状況が続いていることもありますが、事業内容も悩みも苦労も同じ仲間同士、良い関係ができていれば助け合ったり情報を共有することができますので、是非、隣のセンターの扉を叩いて交流(ご近所付き合い)(会員交流)(人事交流)をしてみてはいかがでしょうか? 私は相手との程よい距離感を保つために、挨拶だけは欠かさないように心がけています。人もセンターも一人では生きていけません!皆さんも先ずは挨拶から始めてみませんか?(髙木)